

社会構成主義的考えを取り入れた協働型学習

ー予測困難な時代を生き抜くためにー

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 造形・創造科学系（保健体育科）

氏名 高畑 亮太

本研究の目的は、小学校高学年のベースボール型における社会構成主義的考えを取り入れた授業を検討することである。現在多く取り扱われている Games Concept Approach (GCA) という指導アプローチ重視の内容であるが、教師が一方的に教える授業ではなく、ゲーム中心の単元構想により、戦術的な気づき、適切な意思決定、問題提起からの原因・解決策の向上を目指した。そのためには、教師は学習のファシリテーターとして機能し、ゲームを通じて、学習者がゲームのルールや困り感の把握ができるようサポートする。また、ルールの決定は合意形成で行うものとし、予測困難な時代でも生かすことができる社会性と問題解決能力を育ませる。その結果、『Level of TDC』の戦術アプローチの向上が見られる結果となった。今後の課題として、教師が観察し助言してくれるという学習者の固定概念からの教師の位置づけと練習の有無からどのような変容が見られていくのか今後の検証課題としていく。

キーワード: ベースボール型, 社会構成主義, 行動主義, ファシリテーター